

(様式第9)

鹿大医歯病総第623号
平成21年10月29日

厚生労働大臣

鹿児島大学病院
高松 英

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	182人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	183人	219人	365.1人	看護業務補助	20人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	101人	45人	143.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	44人
薬剤師	34人	6人	40.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人	その他	2人
助産師	30人	1人	30.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	556人	30人	580.8人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	10人	4人	14.0人	歯科技工士	5人	事務職員	125人
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診療放射線技師	30人	その他の職員	15人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	570.2人	26.6人	596.8人
1日当たり平均外来患者数	907.7人	409.5人	1,317.2人
1日当たり平均調剤数	935.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
腭腫瘍に対する腹腔鏡補助下腭切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、腭管内腫瘍その他の腭良性腫瘍に係る腭体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植を受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	15人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	65人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	25人
・多発性硬化症	40人	・ウェグナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	87人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	61人
・全身性エリテマトーデス	242人	・多系統萎縮症	21人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	41人	・膿疱性乾癬	17人
・サルコイドーシス	73人	・広範脊柱管狭窄症	19人
・筋萎縮性側索硬化症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	9人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	173人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	49人	・特発性大腿骨頭壊死症	61人
・結節性動脈周囲炎	29人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	35人	・原発性免疫不全症候群	9人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	28人
・ビュルガー病	15人	・網膜色素変性症	31人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	47人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	30人	・神経線維腫症	35人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	58人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	12人
・後縦靭帯骨化症	64人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・ハンチントン病	3人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	145回		
剖検の状況	剖検症例数	18 例	剖検率 12.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
動脈硬化症疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	鄭 忠和(主任 国立循環器病センター内藤博昭)	第一内科	1,000	補 委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	鄭 忠和(主任 国立循環器病センター北風政史)	第一内科	1,100	補 委 厚生労働省
女性外来と千葉県大規模コホート調査を基盤とした性差を考慮した生活習慣病対策の研究	嘉川亜希子(主任 千葉県生成研究所天野恵子)	第一内科	1,000	補 委 厚生労働省
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	岡崎 和一 (分担)坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡辺 守 (分担)坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	林 紀夫 (分担)井戸章雄	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	金子 周一 (分担)宇都博文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	2,500	補 委 厚生労働省
非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法・治療法の開発に関する研究	岡上 武 (分担)宇都博文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究	熊田 博光 (分担)桶谷 眞	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	2,000	補 委 厚生労働省
E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究	矢野 公士 (分担)桶谷 眞	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	坪内博仁 (代表)	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	42,900	補 委 厚生労働省
HGFによる肝発生・分化制御機序解明に基づく肝再生医療基盤技術創出	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	8,600	補 委 文部科学省
肝障害とその修復過程におけるオステオアクチビンの役割と解析	井戸章雄	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,300	補 委 文部科学省
プロテオミクスを用いた非アルコール性脂肪肝炎の診断マーカーの探索と検証	宇都浩文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,900	補 委 文部科学省
肝細胞増殖因子により発現誘導され、抗アポトーシス分子の候補であるNon3の機能解析	森内昭博	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,200	補 委 文部科学省
ウイルス発がんの機序解明と予防・治療法の創出	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 宮崎県産業支援財団
発症危険度判別によるATL発症リスク診断システムの開発	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	5,000	補 委 宮崎県産業支援財団
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の新しい診断マーカー探索とその臨床応用	宇都浩文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,800	補 委 JST
Desert Hedgehog遺伝子変異による末梢神経障害の病態解明と治療法開発	梅原藤雄	神経内科	2,120	補 委 日本学術振興会
Tdp1ノックアウトマウスを用いた神経変性機序の解明	高嶋博	神経内科	1,820	補 委 日本学術振興会

計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
ニューロパチーの病態解明に関する研究	高嶋博	神経内科	14,000	補 委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	梅原藤雄	神経内科	1,200	補 委 厚生労働省
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	渡邊 修	神経内科	1,000	補 委 厚生労働省
運動失調症に関する調査研究	高嶋博	神経内科	1,200	補 委 厚生労働省
糖尿病多発神経障害の臨床病期分類の確立と病期に基づいた治療ガイドラインの作成	出口 尚寿	糖尿病・内分泌内科	800	補 委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	有村公良	神経内科	14,000	補 委 国立精神・神経センター
筋ジストロフィー及び関連疾患の臨床病態解明と治療法に関する研究	樋口逸郎	神経内科	1,000	補 委 国立精神・神経センター
不随意運動に関する神経機能画像的検討	有村公良	神経内科	300	補 委 垂水中央病院
入浴と身体運動が生体機能に及ぼす影響に関する研究	川平和美	リハビリテーション科	1,000	補 委 ツムラ
脳卒中運動機能障害に対する新たな物理療法による機能回復の研究	川平和美	リハビリテーション科	1,000	補 委 潤和リハビリテーション診療研究所
温泉入浴による糖代謝の改善に関する研究—入浴時の体温上昇による糖処理率およびインスリン反応の変化—	下堂 薫恵	リハビリテーション科	1,000	補 委 日本健康開発財団
ミカルディス錠特定使用成績調査	下堂 薫恵	リハビリテーション科	270	補 委 アステラス製薬
霊長類脳梗塞片麻痺モデルにおける機能回復とリハビリテーションアプローチ	池田聡	リハビリテーション科	5,590	補 委 日本学術振興会
脳卒中患者の感覚障害に対する末梢神経刺激、中枢神経刺激併用の集中的治療	衛藤誠二	リハビリテーション科	2,080	補 委 日本学術振興会
温泉を用いた前腕浴の痙性麻痺上肢機能への影響—運動誘発電位、体性感覚誘発電位、F波による検討	衛藤誠二	リハビリテーション科	300	補 委 日温泉気候物理医学会
中枢性視野障害(視野欠損)に対するコンピュータ化視覚反復刺激訓練装置とその臨床応用	緒方敦子	リハビリテーション科	300	補 委 垂水中央病院
神経因性膀胱における温度受容体の機能に関する研究	吉田輝	リハビリテーション科	1,690	補 委 日本学術振興会
空気圧人工筋肉の特性を生かしたリハビリテーション装具の研究開発	松元秀次	リハビリテーション科	1,700	補 委 独立行政法人科学技術振興機構(JST)
精神障害における神経有棘赤血球症遺伝子群の関わりに関する総合的研究	佐野 輝	精神機能病学分野 (神経科精神科)	7,930	補 委 文部科学省
神経有棘赤血球症遺伝子群と精神障害	佐野 輝	精神機能病学分野 (神経科精神科)	1,000	補 委 平成20年度精神神経系薬物治療研究基金研究助成金
精神神経疾患におけるミトコンドリア遺伝子異常の解析	中村 雅之	精神機能病学分野 (神経科精神科)	650	補 委 文部科学省
ヒト造血幹細胞の加齢に関する研究	河野嘉文	小児科	1,600	補 委 日本学術振興会
炎症と細胞障害に関与する核内蛋白・HMGB1による新しい川崎病重症度評価	野村裕一	小児科	1,700	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
新興病原菌としての腸管凝集性大腸菌の分子疫学研究と免疫クロマト迅速診断法の開発	西順一郎	小児科	1,500	①補委 日本学術振興会
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	河野嘉文	小児科	600	①補委 厚生労働省
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	河野嘉文	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
法制化後の小児慢性特定疾患の登録・管理・治療に関する研究	武井修治	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
小児期のリウマチ・膠原病の難治性病態の診断と治療に関する研究	武井修治	小児科	500	①補委 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為比較試験	野村裕一	小児科	3,000	①補委 厚生労働省
ワクチンの有用性向上のためのエビデンス及び方策に関する研究	西順一郎	小児科	500	①補委 厚生労働省
食中毒調査の精度向上のための手法等に関する調査研究	徳田浩一	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
ヒトヘルペスウイルス6型感染症により誘導された抗カルジオリピン抗体産生の持続性についての研究	豊島光雄	小児科	100	①補委 鹿児島県医師会医学研究助成
ヒトヘルペスウイルス6型感染症と抗リン脂質抗体の関連についての研究	豊島光雄	小児科	500	①補委 森永奉仕会
癌リンパ節転移におけるリンパ管新生因子の機能解析と役割に関する基礎的研究	夏越 祥次	第一外科	1,300	①補委 日本学術振興会
肝発癌過程における組織炎症恒久化因子の同定と制御に関する基礎的・臨床的検討	上野 真一	第一外科	1,600	①補委 日本学術振興会
抗腫瘍免疫機構からみた消化器癌におけるリンパ節微小転移の動向に関する研究	石神 純也	第一外科	900	①補委 日本学術振興会
整容性を考慮した乳房温存時における遊離真皮脂肪片移植の生着機序の解明と臨床応用	喜島 祐子	第一外科	800	①補委 日本学術振興会
消化器癌における循環癌細胞とリンパ節微小転移の臨床的意義	上之園 芳一	第一外科	1,900	①補委 日本学術振興会
リンパ行性転移におけるリンパ管新生とリンパ節微小転移の意義の解明	蔵原 弘	第一外科	1,700	①補委 日本学術振興会
切除可能中等度進行食道癌の治療、食道切除か根治的化学放射線治療か:多施設研究	研究分担 夏越 祥次	第一外科	50	①補委 日本学術振興会
食道癌の診療向上のための分子遺伝学のおよび分子疫学的研究	研究分担 夏越 祥次	第一外科	400	①補委 日本学術振興会
消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為化比較試験	研究分担 夏越 祥次	第一外科	1,000	①補委 厚生労働省
アリムタ注射用500mg特定使用調査(悪性胸膜中皮腫)	柳 正和	第一外科	60	補委 日本イーライリリー

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
グリベック錠100mg消化管間質腫瘍(GIST)特別調査	北菌 正樹	第一外科	30	補 ⑤委 ノバルティスファーマ
スーテントカプセル12.5mg特定使用成績調査ー消化管間質腫瘍に対する調査	石神 純也	第一外科	1,800	補 ⑤委 ファイザー
タルセバ錠特定使用成績調査(全例調査)	柳 正和	第一外科	300	補 ⑤委 中外製薬
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	第一外科	2,000	補 ⑤委 高原町長
患者侵襲軽減のための鏡視下手術の成績向上のための研究	夏越 祥次	第一外科	1,000	補 ⑤委 高原町長
消化器癌発生の伸展における炎症の関与に関する研究	夏越 祥次	第一外科	1,000	補 ⑤委 垂水中央
アービタックス注射液100mg使用成績調査	北菌 正樹	第一外科	60	補 ⑤委 ブリストルマイヤーズ
ゼローダ錠300特定使用成績調査「DuKesC結腸癌における術後補助化学療法」	北菌 正樹	第一外科	60	補 ⑤委 中外製薬
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	井畔 能文	心臓血管外科	500	補 ⑤委 国立循環器病センター
エクスクルーダーY字型ステントグラフトシステム使用成績調査	坂田 隆造	心臓血管外科	60	補 ⑤委 ジャパンゴアテックス株式会社
ユーエフティ特定使用成績調査(非小細胞肺癌完全切除例における服薬状況調査)	中村 好宏	呼吸器外科	300	補 ⑤委 大鵬薬品工業株式会社
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	有田和徳	脳神経外科	900	補 委 厚生労働省
悪性グリオーマにおけるwntシグナル活性化の検討と診断・治療への応用	平野宏文	脳神経外科	1,700	補 委 日本学術振興会
悪性グリオーマに対する樹状細胞/CD133陽性細胞フュージョンワクチン療法の開発	湯之上俊二	脳神経外科	1,500	補 委 文部科学省
関節軟骨におけるGadd45βのC/ebpβ活性化の役割の検討	土持 兼之 (小宮節郎)	整形外科	1,000	補 委 財団法人整形災害外科学研究所助成財団
軟骨恒常性維持と変形性関節症に関わる新規クロマチン蛋白	谷口 昇 (小宮節郎)	整形外科	1,000	補 委 財団法人整形災害外科学研究所助成財団
がん・肉腫幹細胞を標的とした新規治療法の開発ー治療抵抗性肉腫の克服を目指して	小宮節郎	整形外科	4,400	補 委 日本学術振興会
骨軟部腫瘍におけるNotchシグナルと相互作用する異常機構の研究	瀬戸口 啓夫	整形外科	900	補 委 日本学術振興会
変形性関節症の病態解明ーGADD45ベータトランスジェニックマウスの解析ー	井尻 幸成	整形外科	1,900	補 委 日本学術振興会
ポリコム蛋白の機能とターゲット遺伝子解明による関節リウマチ分子標的治療法開発	有島 善也	整形外科	1,800	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
中国東北地方の悪性腫瘍と関連疾患の発症要因の学術調査	金蔵拓郎	皮膚科	4,200	③補委 海外学術調査
CD147/Basigin を標的とした新たな皮膚癌治療戦略の構築	金蔵拓郎	皮膚科	3,810	③補委 日本学術振興会
マイクロRNA発現制御による尿路上皮癌の新規治療の開発	中川 昌之	泌尿器科	10,200	③補委 日本学術振興会
尿中メチル化DNA測定による新しい前立腺癌診断キットの開発	榎田 英樹	泌尿器科	1,900	③補委 日本学術振興会
microRNA発現プロファイルに基づく膀胱癌の新規治療の開発	川元 健	泌尿器科	2,000	③補委 日本学術振興会
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 昌之	泌尿器科	300	③補委 厚生労働省
硝子体の研究:環境解析とその制御およびそれを利用した治療開発	坂本 泰二	眼科	5,700	③補委 日本学術振興会
ナノリポソームと超音波を利用した新しい眼球への遺伝子、薬物導入法の開発	坂本 泰二	眼科	800	③補委 日本学術振興会
バブルリポソームと超音波を利用した前房内薬物送達・遺伝子導入法の開発	内野 英輔	眼科	1,820	③補委 文部科学省
加齢黄斑変性における脈絡膜血管構築と紫外線・液性因子・動脈硬化の関連の研究	大久保明子	眼科	1,690	③補委 日本学術振興会
超音波眼内薬物送達法の研究	坂本 泰二	眼科	1,000	③補委 高齢者眼疾患研究財団
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	小椋祐一郎(研究分担者:坂本泰二)	眼科	2,000	③補委 厚生労働省
子宮内膜症におけるシグナル抑制因子の検討	神尾 真樹	生殖病態生理学(産婦人科)	1,300	③補委 文部科学省
静脈麻酔薬の呼気中濃度測定センサーの開発	上村裕一	侵襲制御学分野(麻酔科)	1,100	③補委 日本学術振興会
周術期に術後鎮痛のために投与されたフェンタニルの乳汁中移行に関する検討	永田悦朗	侵襲制御学分野(麻酔科)	900	③補委 日本学術振興会
母体環境と個体の脳機能、行動の発達—消化管ホルモンの神経栄養作用に着目して	乾 明夫	心身医療科	1,600	③補委 日本学術振興会
難治性神経代謝疾患に対するトランスレーショナルリサーチ	乾 明夫	心身医療科	6,760	③補委 日本学術振興会
胃食道逆流モデルラットにおけるプラキニウム様運動を誘発するメカニズムの解明	乾 明夫	心身医療科	2,990	③補委 日本学術振興会
摂食障害における食欲調節ペプチドの一塩基多型と病態、治療、予後に関する研究	安原大輔	心身医療科	1,300	③補委 日本学術振興会
レプチンの多彩な作用に着目した糖尿病に対する新たな治療法の開発	兒島真哉	心身医療科	1,690	③補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
Parathyroid hormone-related protein と癌性悪液質の病態との関係	浅川明弘	心身医療科	500	補 委 Gastrointestinal Activating System研究会
トランスデューサーを用いた六君子 湯の消化管運動に関する研究	乾 明夫	心身医療科	1,000	補 委 株式会社 ツムラ
もろみ酢飲料の機能性及び生活習 慣病に対する効果に関する研究	乾 明夫	心身医療科	3,000	補 委 田苑酒造株式会社
過敏性腸症候群に対するホクレオ ゾン単味製剤の効果	乾 明夫	心身医療科	2,700	補 委 大幸薬品株式会社
水素の機能性に対するトランスレー ショナルリサーチ	乾 明夫	心身医療科	15,000	補 委 パナ株式会社
ピンホールコリメータを応用した微小 転移リンパ節の分子イメージングシス テムの開発	佐藤強志	顎顔面放射線科	2,990	補 委 日本学術振興会
RA滑膜細胞における活性酸素種産 生と細胞死に対するミトコンドリアMn SODの効果	末永重明	顎顔面放射線科	1,430	補 委 日本学術振興会
核医学における放射性薬品輸送蛋 白の腫瘍マーカーとしての可能性の 検討	川畑義裕	顎顔面放射線科	3,250	補 委 日本学術振興会
黒酢と黒酢もろみ末のミトコンドリア産 生活性酸素発生	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	909	補 委 坂元醸造株式会社
ミトコンドリア由来活性酸素による Nrf2-keep	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	2,000	補 委 大塚製薬株式会社
放射線耐性に対するミトコンドリアの 役割解明研究	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	13,749	補 委 独立行政法人農業生物資源研究 所
平成20年度イノベーション創出基礎 的研究推進事業(技術シーズ開発 型) 筋肉老化を防ぐ抗ユビキチン化 ペプチドおよびフラボノイドの開発	馬嶋秀行 (分担者)	顎顔面放射線科	3,158	補 委 独立行政法人農業・食品産業技 術総合研究機構
歯科治療時における音楽・笑気併用 鎮静法の自律神経と循環動態変動 に及ぼす影響	梶山加綱	歯科麻酔科	1,300	補 委 日本学術振興会
スタチンによる手術後認知機能低下 の予防に関する基礎的研究	糺谷 淳	歯科麻酔科	1,500	補 委 日本学術振興会
学習記憶増強酵素スルフォトランス フェラーゼの発現調節と麻酔薬によ る修飾機序	糺谷 淳	歯科麻酔科	1,300	補 委 日本学術振興会
睡眠時の口腔咽頭食道内の酸のク リアランスと酸関連上部消化器疾患に 対する咬合の影響	宮脇正一	矯正歯科	7,410	補 委 日本学術振興会
下顎頭軟骨の形成、成長、機能維持 におけるTen-m/Odz3の役割に関する 研究	福永智広	矯正歯科	2,080	補 委 日本学術振興会
食道内への胆汁逆流が睡眠時ブラ キシズムに及ぼす影響を明らかにす る研究	大牟禮治人	矯正歯科	2,080	補 委 日本学術振興会
MyD88ノックアウトマウスを用いた矯 正学的歯の移動における炎症様反 応機構の解明	前田 綾	矯正歯科	1,170	補 委 日本学術振興会
胃食道逆流モデルラットにおける ブラキシズム様運動を誘発するメカ ニズムの解明	上村裕希	矯正歯科	2,990	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
小児の睡眠障害およびブラキシズムとストレス、呼吸消化器症状、顎顔面形態との関連	坂口勝義	矯正歯科	650	補委 日本学術振興会
永久歯の先天性欠如に関する総合的研究	山崎要一	小児歯科	4,550	補委 日本学術振興会
哺乳時の下顎の動きは前後が主体である これは咀嚼運動においていつまで継続するか?	早崎治明	小児歯科	1,040	補委 日本学術振興会
コンビームX線CTによる小児の気道と顎顔面形態の流体力学的研究	岩崎智憲	小児歯科	650	補委 日本学術振興会
身体抑制ストレス反応に対する幼少期母子分離の影響-中枢神経系メカニズムの解明-	松本祐子	歯科総合診療部	1,430	補委 日本学術振興会
口唇口蓋裂児の哺乳時舌圧からみた離乳開始期判別システムの開発	徳富順子	小児歯科	1,755	補委 日本学術振興会
血小板由来増殖因子によるマウス顎下腺分岐形態形成の制御	山本晋也	小児歯科	1,742	補委 日本学術振興会
転写因子レベルにおけるセメント芽細胞分化制御解析と歯周組織再生への応用	野口和行	歯周病科	1,300	補委 日本学術振興会
新規炎症調節物質(ANAとHMGB-1)を軸とした歯周病態形成機構の解明と制御	町頭三保	歯周病科	650	補委 日本学術振興会
炎症増悪における血管内皮細胞増殖因子の機能とその意義	志野久美子	歯周病科	1,170	補委 文部科学省
有茎自家骨トランスポートと吸収性人工骨を応用した新たな生体模倣型骨造成法の開発	白方良典	歯周病科	1,500	補委 文部科学省
レニンアンギオテンシン系を軸とした歯周病とメタボリック症候群の分子生物学的解析	中村利明	歯周病科	2,210	補委 文部科学省
アディポネクチンと歯周病の分子メカニズム解析	迫田賢二	歯周病科	2,000	補委 文部科学省
新規炎症性メディエーターHMGB1を軸とした歯周病進行と歯周病態制御の解析	森元陽子	歯周病科	1,600	補委 文部科学省
内因性カンナビノイドを介する歯周病と動脈硬化性疾患の関連性	中島結実子	歯周病科	1,040	補委 文部科学省
交互浸漬を用いた新開発チタンアパタイト表面と骨芽細胞の付着解析	宮本元治	歯周病科	1,330	補委 日本学術振興会
歯周病におけるTACEの機能と、TACE阻害剤の有効性の検討	野口和行	歯周病科	1,000	補委 科研製薬
ビーグル犬歯周組織欠損におけるbFGFの効果に関する組織学的研究	野口和行	歯周病科	1,365	補委 科研製薬
KCB1-D歯周組織再生試験(第Ⅲ相・検証的試験)	野口和行	歯周病科	4,536	補委 科研製薬
顎骨骨増生に対する骨補填材・骨成長因子に関するエビデンスを得るための臨床応用研究	西原 一秀	口腔顎顔面外科	910	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
摂食・嚥下障害に対する顎口腔機能評価および訓練法の標準化	中村 康典	口腔顎顔面外科	3,900	①補 委 日本学術振興会
医療面接シミュレータによる生涯教育と地域連携データベースの応用に関する評価研究	熊本 一朗	医療情報部	600	①補 委 日本学術振興会
医薬品副作用シグナル検知システムへのテキストマイニング技術の応用に関する研究	村永 文学	医療情報部	2,500	①補 委 日本学術振興会
レトロウイルスによる神経傷害機序: HAMとエイズ脳症患者試料を用いた多角的解析	古川 良尚	輸血部	400	①補 委 日本学術振興会
難治性てんかんに関わるコンタクトン関連蛋白質の分子間相互作用の解析	武田 泰生	薬剤部	2,210	①補 委 日本学術振興会
低酸素で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構	池田 龍二	薬剤部	1,560	①補 委 日本学術振興会
抗がん剤で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構	池田 龍二	薬剤部	1,000	①補 委 薬学研究奨励財団
積極的栄養管理を含めた化学放射線療法施行時における免疫学的指標の変動に関する研究	藤崎 裕子	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
個別化医療に向けた抗がん剤感受性試験に基づく科学的がん薬物療法に関する研究	牛山 美奈	薬剤部	990	①補 委 日本学術振興会
緑茶カテキンと各種薬物との相互作用に関する研究	園田 純一郎	薬剤部	540	①補 委 日本学術振興会
黒酢の薬物相互作用に関する研究	柴山 良彦	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
パクリタキセルによる末梢神経障害の新規発症メカニズムの解明	茂見 茜里	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
				計 12 総計 155

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med 2009;48:273-279	Interindividual divergence in the relationship between the values of plasma glucose and hemoglobin A1c in type 2 diabetes	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2009;73:434-435	New approaches to the evaluation of coronary endothelial function direct measurement of intra-arterial no concentration in vivo	Tei C, et al.	第一内科
J Cardiol 2009;53:127-135	The role of infection in the development of non-valvular atrial fibrillation: Up-regulation of Toll-like receptor 2 expression levels on monocytes	Tei C, et al.	第一内科
Am J Cardiol 2009;103:322-327	Combined Prognostic Utility of White Blood Cell Count, Plasma Glucose, and Glomerular Filtration Rate in Patients Undergoing Primary Stent Placement for Acute Myocardial Infarction	Tei C, et al.	第一内科
Arc Physic Med Re 2009;90:173-177	Safety, Acceptance, and Physiologic Effects of Sauna Bathing in People With Chronic Heart Failure: A Pilot Report	Tei C, et al.	第一内科
Leukemia 2009;23:375-382	PD-1/PD-L1 expression in human T-cell leukemia virus type 1 carriers and adult T-cell leukemia/lymphoma patients	Tei C, et al.	第一内科
Molecular Therapy 2009;17:262-268	Direct injection of Kit ligand-2 lentivirus improves cardiac repair and rescues mice post-myocardial infarction	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2008;72:1937-1945	Better survival with statin administration after revascularization therapy in Japanese patients with coronary artery disease - Perspectives from the CREDO-	Tei C, et al.	第一内科
Intern Med 2008;47:1473-1476	Efficacy of Waon therapy for fibromyalgia	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2008;72:1737-1743	Impact of subvalvular procedure for ischemic mitral regurgitation on leaflet configuration, mobility, and recurrence	Tei C, et al.	第一内科
Hypertension Research 2008;31:1631-1642	The long-term effect of angiotensin II type 1a receptor deficiency on hypercholesterolemia-induced atherosclerosis	Tei C, et al.	第一内科
J Cardiol 2008;52:79-85	Beneficial effects of Waon therapy on patients with chronic heart failure: Results of a prospective multicenter study	Tei C, et al.	第一内科
Intern J Hemato 2008;88:331-335	Case of a patient with Philadelphia-chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia relapsed after myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation treated successfully with imatinib and sequential donor lymphocyte infusions	Tei C, et al.	第一内科
J Infection 2008;57:249-259	Toll-like receptor 2 expression level on monocytes in patients with viral infections: Monitoring infection severity	Tei C, et al.	第一内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol 2008;52:7-16	No reflow-like pattern in intramyocardial coronary artery suggests myocardial ischemia in patients with hypertrophic cardiomyopathy	Tei C,et al.	第一内科
Am J Cardiol 2008;102:197-202	A Technique for Diagnosis of Accessory Pathway Using the H-H and A-A Intervals of the First Entrained Cycle During Ventricular Overdrive Pacing	Tei C,et al.	第一内科
Intern Med 2008;47:675-678	Pyogenic liver abscess related to dental disease in an immunocompetent host	Tei C,et al.	第一内科
Thrombosis Research 2008;121:773-780	Dysfibrinogen Kagoshima with the amino acid substitution γ Thr-314 to Ile: Analyses of molecular abnormalities and thrombophilic nature of this abnormal molecule	Tei C,et al.	第一内科
J Cardiol 2008;51:145-156	Mechanism of ischemic mitral regurgitation	Tei C,et al.	第一内科
Circ J 2008;72:521-525	Impact of body mass index on in-hospital outcomes after percutaneous coronary intervention for ST segment elevation acute myocardial infarction	Tei C,et al.	第一内科
Intern J Cardiol 2008;126:53-61	Adiponectin is a better predictor of endothelial function of the coronary artery than HOMA-R, body mass index, immunoreactive insulin, or triglycerides	Tei C,et al.	第一内科
Intern J Hemato 2008;87:319-326	Allogeneic stem cell transplantation for refractory adult T-cell leukemia using a non-T-cell-depleted HLA-incompatible family donor graft, with reference to the grown-up child donor to parent recipient setting: Report of a pilot study	Tei C,et al.	第一内科
J Postgradu Med 2008;54:149	Massive gastric distension from excessive food infarction	Tei C,et al.	第一内科
J Cardiol 2008;51:106-113	Repeated Waon therapy improves pulmonary hypertension during exercise in patients with severe chronic obstructive pulmonary disease	Tei C,et al.	第一内科
Cancer Lett	Activation of complement system in adult T-cell leukemia (ATL) occurs mainly through lectin pathway: A serum proteomic approach using mass spectrometry.	Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
J Gastroenterol	Endoscopic characterization of the small bowel in patients with portal hypertension evaluated by double balloon endoscopy.	Uto H, Tsubouchi N, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
J Gastroenterol.	Association of a genetic polymorphism in ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase 1 with hepatitis C virus infection and hepatitis C virus core antigen levels in subjects in a hyperendemic area of Japan.	Uto H, Kanmura S, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
Inflamm Bowel Dis.	Human neutrophil peptides 1-3 are useful biomarkers in patients with active ulcerative colitis.	Kanmura S,Uto H, Fujita H, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
Hepatol Res.	Translational research on HGF: A phase I/II study of recombinant human HGF for the treatment of fulminant hepatic failure.	Ido A, Tsubouchi H.	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabet Med	Serum VEGF increases in diabetic polyneuropathy, particularly in the neurologically active symptomatic stage.	Deguchi T	糖尿病・内分泌内科
Neuropediatrics.	Genetically confirmed patients with merosin-deficient congenital muscular dystrophy in China.	Takashima H	神経内科
Retrovirology	In vivo expression of the HBZ gene of HTLV-1 correlates with proviral load, inflammatory markers and disease severity in HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP).	Arimura K	神経内科
J Neurovirol.	Accumulation of human T-lymphotropic virus type I (HTLV-I)-infected cells in the cerebrospinal fluid during the exacerbation of HTLV-I-associated myelopathy.	Hayashi D	神経内科
Rinsho Shinkeigaku.	Subcommittee of the Japanese Society of Neurology for Undergraduate Education. [Nationwide questionnaire study in "the Model Core Curriculum" and current status for the undergraduate education in neurology]	Arimura K	神経内科
Cochrane Database Syst Rev.	Treatment for POEMS (polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, M-protein, and skin changes) syndrome.	Arimura K	神経内科
J Neuroimmunol.	Reduced Foxp3 expression with increased cytomegalovirus-specific CTL in HTLV-I-associated myelopathy.	Hayashi D	神経内科
Rinsho Shinkeigaku	A case of reversible cerebral vasoconstriction syndrome (RCVS) triggered by a Chinese herbal medicine	Ichiki M	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Prevalence and incidence rates of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy in the Japanese population.	Arimura K	神経内科
J Med Genet.	Schimke immuno-osseous dysplasia: SMARCAL1 loss-of-function and phenotypic correlation.	Takashima H	神経内科
Mov Disord	Familial Parkinsonism with digenic parkin and PINK1 mutations.	Takashima H	神経内科
Urology 72(3): 701-705, 2008	Effect of menthol on detrusor smooth-muscle contraction and the micturition reflex in rats	吉田 輝	リハビリテーション科
適応医学 12(2): 38-46, 2008.	リハビリテーション医療への温泉応用の効果.	川平 和美	リハビリテーション科
リハビリテーション医学 45(9): 591-597, 2008.	最新のリハビリテーション 痙縮のマネジメント	松元 秀次	リハビリテーション科
J Hum Genet	Microarray comparative genomic hybridization analysis of 59 patients with schizophrenia.	Mizuguchi T., Sano A., et al	精神機能病学分野 (神経科精神科)
J Psychiatr Res	Gene expression and association analyses of the PDE4B (Phosphodiesterase 4B) gene in major depressive disorder in the Japanese Population.	Numata S., Sano A., et al	精神機能病学分野 (神経科精神科)
臨床精神医学	拡大自殺により実子を殺害したうつ病患者に関する考察	赤崎 安昭 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
強迫性障害の研究	強迫観念および独特な思考から不食に至った1症例	川床 貴史 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)
Medical Journal of Kagoshima University	A Case of Obsessive-Compulsive Disorder (OCD) Associated with Special Japanese Cultural Background Involving Strong Fear against Entities Associated with Bad	Akasaki Y. et al	精神機能病学分野 (神経科精神科)
臨床精神医学	拡大自殺により実子を殺害したうつ病者に関する考察.臨床精神医学	赤崎 安昭 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)
九州神経精神医学	鹿児島県における司法精神医学の現状と課題(第2報)-成年後見制度に基づく精神鑑定に関するアンケート調査を通して	赤崎 安昭 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)
九州神経精神医学	放火という行動化がみられた思春期境界例の1例-インターネットがもたらした精神病理現象に関して-	楠本 朗 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)
九州神経精神医学	プライマリケア医のうつ病診断に関する実態調査	佐野 輝 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)
Current Microb 56(5):474-80, 2008	The shf gene of a Shigella flexneri homolog on the virulent plasmid pAA2 of enteroaggregative Escherichia coli 042 is required for firm biofilm formation.	Nishi J, et.al	小児科
Pediatr Infect Dis J 27(6):558-9. 2008	Proinflammatory cytokines in cerebrospinal fluid from patients with nontyphoidal Salmonella encephalopathy.	Nishi J, et. al	小児科
Mod Rheumatol. 18(2):189-92, 2008	A case of planned pregnancy with an interruption in infliximab administration in a 27-year-old female patient with rheumatoid-factor-positive polyarthritis juvenile idiopathic arthritis which improved after restarting infliximab and methotrexate.	Nerome Y, et.al	小児科
Pediatrics International 50(4):541-545, 2008	Frequent methylprednisone pulse therapy is a risk factor for steroid cataracts in children.	Nerome Y, et.al	小児科
J Pediatr Hematol Oncol. 30(7):519-521, 2008.	Severe neurotoxicities in a case of Charcot-Marie-Tooth disease type 2 caused by vincristine for acute lymphoblastic leukemia.	Nishikawa T, et.al	小児科
Pediatr Int. 50(6):816-818, 2008	Selective IgA deficiency complicated by Kawasaki syndrome.	Nishikawa T, et.al	小児科
J Infect Chemother 14(3):255-7, 2008	A childhood case of descending necrotizing mediastinitis secondary to retropharyngeal abscess.	Yamasaki Y, et.al	小児科
Brain Dev. 30(3):221-225, 2008	Mental retardation, spasticity, basal ganglia calcification, cerebral white matter lesions, multiple endocrine defects, telangiectasia and atrophic skin: A new syndrome?	Totoshima M, et.al	小児科
臨床リウマチ20(3):235-239, 2008	小児リウマチ性疾患における医療連携.	武井 修治 他	小児科
日本小児科学会雑誌 112(8):1255-1259, 2008	ステロイドパルス療法を繰り返し救命しえたアデノウイルス3型が考えられた重症肺炎.	西川 拓朗 他	小児科
日本小児科学会雑誌 112(4):719-723, 2008	間質性肺炎にシクロスポリンが有効であった抗Jo-1抗体陽性若年性皮膚筋炎の1例.	野中 由希子 他	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児科学会雑誌 112(7): 1133-1138, 2008	卒後臨床研修における小児科研修 期間延長は研修医の研修成果や満 足度を向上させる.	野村 裕一 他	小児科
小児感染症免疫 21(1):7- 12, 2009	BCC骨髄炎の2幼児例-早期診断の ための遺伝子検査の有用性-	西 順一郎 他	小児科
日本小児科学会雑誌 113(1):112-115, 2009	共用試験成績と小児科臨床実習現 場における評価の関連.	野村 裕一 他	小児科
日本小児科学会雑誌 113(3):564-568, 2009	医学部1年生保育所体験. 実習は小 児医療への関心を高めるために有効 か?	野村 裕一 他	小児科
日本気管食道科学会 会報	気道食道領域における分子生物学 の進歩	夏越 祥次	第一外科
日本医事新報	消化管外科学	夏越 祥次	第一外科
鹿児島県医師会報	広背筋を用いた二期的乳房再建術	喜島 祐子	第一外科
乳癌の臨床 (Jpn J Breast Cancer)	肉芽腫性乳腺炎 (Granulomatous lobular mastitis) の1例	金子 公一	第一外科
手術	リンパ節郭清の基本手技と注意点	石神 純也	第一外科
癌と化学療法	隔週Paclitaxel+S-1併用療法にて長 期の完全寛解が得られた肝転移陽 性胃癌の1例	石神 純也	第一外科
日本臨牀	胃癌-基礎・臨床研究のアップデート- 1.総説 胃癌取扱い規約, RECISTの現況・課題・展望	石神 純也	第一外科
日本外科学会雑誌	Sentinel Node Navigation Surgery の 進歩 3. 食道癌	上之園 芳一	第一外科
癌と化学療法社	膵・胆道癌切除後の局所再発巣に対 する化学放射線療法の有用性	新地 洋之	第一外科
日本消化器外科学会 雑誌	外科的治療を繰り返し長期生存して いる粘液産生胆管癌の2例	蔵原 弘	第一外科
the Journal cancer surgery	Cyclooxygenase-2 expression is related to prognosis in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Natsugoe,S	第一外科
Brithsh Journal of Cancer	CD33 expression is correlated with lymph node metastasis and vascular endothelial growth factor-C expression in pancreatic cancer	H Shinchii	第一外科
ULTRASOUND IN MEDICINE&BIOLOGY	ULTRASOUND EXAMINATION IS USEFUL FOR PREDICTION OF HISTOLOGIC TYPE IN INVASIVE DUCTAL CARCINOMA OF THE BREAST	Yuko Kijima	第一外科
SURGERY TODAY	Oncoplastic Surgery After Mammary Reduction and Mastopexy for Bilateral Breast Cancer:Report of a	Yuko Kijima	第一外科
Journal of Surgical Research	Sentinel node Micrometastases Have High Proliferative Potential in Gastric Cancer	Natsugoe,S	第一外科
SURGERY TODAY	Intramammary Sentinel Lymph Node in Patients with Breast Cancer:Report of Four Cases	Y Kijima.	第一外科
Acta Histochem ,Cytochem	Homeostatic Mass Control in Gastric Non-Neoplastic epithelia under Infection of Helicobacter pylori: An Immunohistochemical Analysis of Cell Growth, Stem Cells and Programed Cell Death	Takashi Aiko	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastrointest Surg	Salvage Gastrectomy Following a Combination of Biweekly Paclitaxel and S-1 for Stage IV Gastric Cancer	Sumiya Ishigami	第一外科
Medical Journal of Kagoshima University	Superior Mesenteric Artery Syndrome Associated with Total	Sumiya Ishigami	第一外科
Journal of Surgical Oncology	HLA-Class I Expression in Gastric Cancer	Sumiya Ishigami	第一外科
心臓血管外科テクニク、 III 冠動脈・心筋疾患編	心室中隔穿孔、左室自由壁破裂	上野 正裕	心臓血管外科
日本胸部外科学会雑誌	胸部外科領域における周術期管理と合併症、心臓血管領域 肝機能障害の手術適応と周術期管理	松本 和久	心臓血管外科
Circ J	Impact of subvalvular procedure for ischemic mitral regurgitation on leaflet configuration, mobility, and	Ueno T	心臓血管外科
Cardiomyopathies: Causes, Effects and Treatment	Surgical treatment for cardiomyopathy and associated functional mitral regurgitation.	Ueno T	心臓血管外科
日本呼吸器外科学会雑誌	気胸にて発症したウエステルマン肺吸虫症の1例	狩集 弘太	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌	同時性二重肺癌に対して肺葉切除術と重粒子線治療を行い5年3ヶ月無再発生存中の1例	福森 和彦	呼吸器外科
ENDOCRINE JOURNAL 55(5): 895-903 2008	Treatment of Elderly Acromegalics	Arita K	脳神経外科
THROMBOSIS RESEARCH 122(2): 247-255	Changes in tissue factor and the effects of tissue factor pathway inhibitor on transient focal cerebral ischemia in rats	Niuro M	脳神経外科
BRAIN TUMOR PATHOLOGY 25(1): 25-31 2008	Consecutive histological changes in an astroblastoma that disseminated to the spinal cord after repeated intracranial recurrences: a case report	Hirano H	脳神経外科
JOURNAL OF NEUROSCIENCE RESEARCH 86(4):813-820 2008	Deletion of the STOP gene, a microtubule stabilizing factor, leads only to discrete cerebral metabolic changes in mice	Hanaya R	脳神経外科
NEUROBIOLOGY OF DISEASE 31(3): 451-458 2008	The role of the inherited genetic background on the consequences of lithium-pilocarpine status epilepticus: Study in Genetic Absence Epilepsy Rats from Strasbourg and Wistar audiogenic rats	Hanaya R	脳神経外科
脳腫瘍の外科 97-108,2008	Management avoidance of surgical complication in transsphenoidal surgery	Arita K	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 84(suppl.):127-129,2008	高齢者におけるGH産生腺腫の治療	有田 和徳	脳神経外科
Arthritis Rheum 58(7):2075-2087,2008	Differential expression of GADD45delta in normal and osteoarthritic cartilage: potential role in homeostasis of articular chondrocytes.	Ijiri K	整形外科
Cancer Res 68(10):3795-3802,2008	Cancer cell enhances the penetration and efficacy of oncolytic herpes simplex virus in tumors.	Nagano S	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spine 33(18):1943-1950,2008	Expression of apoptosis signal-regulating kinase 1 in spinal cord under chronic mechanical compression.-Possible involvement of the stress-activated mitogen-activated protein kinase pathways in spinal cord cell apoptosis.	Setoguchi T	整形外科
Spine 34(4):323-327,2009	Stem cell factor prevents neuronal cell apoptosis after acute spinal cord injury.	Setoguchi T	整形外科
Anticancer Res 28(4B):2147-2154,2008	Efficacy of the third-generation bisphosphonate risedronate alone and in combination with anticancer drugs against osteosarcoma cell	Kawasoie Y	整形外科
J Biol Chem 283(51):35660-35667,2008	Smurf2 induces ubiquitin-dependent degradation of Smurf1 to prevent migration of breast cancer cells.	Komiya S	整形外科
Spinal Cord 46(3):241-242,2008	Spinal cord infarction following endoscopic variceal ligation	Yamamoto T	整形外科
Proc Natl Acad Sci USA 106(4):1181-1186,2009	Aging-related loss of the chromatin protein HMGB2 in articular cartilage is linked to reduced cellularity and osteoarthritis.	Komiya S	整形外科
Modern Rheum 18(6):277-280,2008	Ossification of the posterior longitudinal ligament in dizygotic twins with schizophrenia:a case	Matsunaga S	整形外科
Mol Biol Cell 19(12):5373-5386,2008	CCAAT/enhancer-binding protein β promotes osteoblast differentiation by enhancing Runx2	Komiya S	整形外科
Arthritis Rheum 60(1):63-72,2009	Activation of synovialin promoter in rheumatoid synovial cells by a novel transcription complex of interleukin enhancer binding factor 3 and GA binding protein alpha.	Yokouchi M	整形外科
Arthritis Rheum 58(9):2675-2685,2008	Extracellular high mobility group box chromosomal protein 1 is a coupling factor for hypoxia and inflammation in arthritis.	Komiya S	整形外科
Spine 33(24):2468-2650,2008	Radiographic predictors for the development of myelopathy in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament.-A multicenter cohort study.	Komiya S	整形外科
日本アフェレシス学会 雑誌 27(2):152-157	好中球性皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法	金蔵 拓郎	皮膚科
日本アフェレシス学会 雑誌 27(2):164-166	ベーチェット病におけるアフェレシス治療	米良 健太郎	皮膚科
西日本皮膚科 70(4):417-422	皮膚とシクロオキシゲナーゼ(前編) COXと癌	金蔵 拓郎	皮膚科学
西日本皮膚科 70(5):511-515	皮膚とシクロオキシゲナーゼ(中編) 皮膚癌とCOX-2	金蔵 拓郎	皮膚科
西日本皮膚科 70(6):645-650	皮膚とシクロオキシゲナーゼ(後編) COX-2を標的とした発癌予防	金蔵 拓郎	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 118(13):2958-2962	新しくなった皮膚リンパ腫の考え方 菌状息肉症・セザリー症候群の新知	河井 一浩	皮膚科
Skin Cancer 23(3):287-293	皮膚リンパ腫診療ガイドライン:菌状息肉症・Sezary症候群	河井 一浩	皮膚科
J.Dermatol. 35(4):225-228	Case of adult T-cell leukemia with pulmonary involvement presenting as nodular shadows.	Oyama K, et al	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bone.Marrow.Transplant. 41(12):1029-1035	Graft-versus-adult T-cell leukemia/lymphoma effect following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Yonekura K, et al	皮膚科
Scand.J.Plast.Reconstr.Surg.Hand.Surg. 42(3):127-131	Submental perforator flap: location and number of submental perforating vessels.	Matsushita S, et al	皮膚科
Clin.Exp.Dermatol. 33(4):484-490	9-Cis-retinoic acid exhibits antifibrotic activity via the induction of cyclooxygenase-2 expression and prostaglandin E2 production in scleroderma fibroblasts.	Kanekura T, et al	皮膚科
Cancer.Invest. 26(7):689-697	Inhibition of CD147 gene expression via RNA interference reduces tumor cell proliferation, activation, adhesion, and migration activity in the human Jurkat T-lymphoma cell line.	Kanekura T, et al	皮膚科
Biol.Pharm.Bull. 31(9):1691-1695	Uptake of a recombinant human alpha-L-iduronidase (Iaronidase) by cultured fibroblasts and osteoblasts.	Kanekura T, et al	皮膚科
Int.Immunol. 20(10):1343-1349	NK cells contribute to the skin graft rejection promoted by CD4+ T cells activated through the indirect allorecognition pathway.	Kawai K, et al	皮膚科
J.Proteome.Res. 7(11):4784-4791	Proteome analysis of multidrug resistance of human oral squamous carcinoma cells using CD147 silencing.	Kanekura T, et al	皮膚科
J.Dermatol. 35(11):726-728	Giant microcystic adnexal carcinoma of the scalp.	Matsushita S, et al	皮膚科
Molecular.Medicine.Reports. 1(6):869-874	Increased prevalence of group A β -hemolytic streptococcus among an ethnic population in Kyrgyzstan detected by the rapid antigen detection test.	Azakami K, et al	皮膚科
Biochem.Biophys.Res.Commun. 377(2):642-647	Thrombomodulin exerts cytoprotective effect on low-dose UVB-irradiated HaCaT cells.	Iwata M, et al	皮膚科
Cance.Let. 273(1):140-147	A CD147-targeting siRNA inhibits the proliferation, invasiveness, and VEGF production of human malignant melanoma cells by down-regulating glycolysis.	Kanekura T, et al	皮膚科
Arthritis.Rheum. 60(1):63-72	Activation of synovial promoter in rheumatoid synovial cells by a novel transcription complex of interleukin enhancer binding factor 3 and GA binding protein alpha.	Azakami K, et al	皮膚科
J.Dermatol. 36(2):114-115	Successful treatment of multiple eccrine hidrocystoma with topical atropine sulfate ointment.	Shimokawa M, et al	皮膚科
J.Dermatol. 36(3):179-180	Mondor's disease on the neck.	Mera K, et al	皮膚科
皮膚科の臨床 50(5):579-582	【薬疹・薬物障害】トシル酸スプロキサシンによる膿疱型薬疹の1例	武田 浩一郎 他	皮膚科
西日本皮膚科	西部支部学術大会還暦の歩み	金蔵 拓郎	皮膚科
Journal of Urology 180:343-351. 2008	CpG hypermethylation of the UCHL1 gene promoter is associated with pathogenesis and poor prognosis in renal cell carcinoma.	Kagara I, Enokida H, et al.	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Cancer 123:535-542, 2008	DNA methylation and histone modifications cause silencing of Wnt antagonist gene in human renal cell carcinoma cell lines	Kawamoto K, Nakagawa M, et al.	泌尿器科
Br J Ophthalmol. 2008 May;92(5):630-4.	Age-related maculopathy and sunlight exposure evaluated by objective measurement.	Hirakawa M et al	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2008 Jul;246(7):959-66.	One-year results of a multicenter controlled clinical trial of triamcinolone in pars plana vitrectomy.	Yamakiri K et al	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2008 Jul;246(7):1053-8.	High-mobility group box 1 protein in endophthalmitis.	Arimura N et al	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 246:325-326, 2008	Reply to comment by S. Kase and N. Rao regarding our publication "Conjunctival nodules associated with Vogt-Koyanagi-Harada disease"	Nakao K et al	眼科
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol. Apr;246(4):491-9, 2008.	Clinical features of early and late stage polypoidal choroidal vasculopathy characterized by lesion size and disease duration.	Okubo A et al	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2009 Mar;247(3):421-5.	Nasal and independent polypoidal lesions in polypoidal choroidal vasculopathy.	Okubo A et al	眼科
Retina. 2008 Oct;28(9):1228-33.	Long-term outcomes of visual field defects after indocyanine green-assisted macular hole surgery.	Yamashita T et al	眼科
日本眼科学会雑誌 112(9) 790-800.	眼科領域におけるシリコンオイル使用状況全国調査結果.	坂本 泰二 他	眼科
Am J Ophthalmol. 2009 Mar;147(3):481-488.	Posturing time after macular hole surgery modified by optical coherence tomography images: a	Masuyama K et al	眼科
Lab Invest. 2009 Mar;89(3):278-89.	Intraocular expression and release of high-mobility group box 1 protein in retinal detachment.	Arimura N et al	眼科
Radiation Medicine.26(6):355-361,2008.	Pancreatic adenocarcinoma:analysis of the effect of various concentration of contrast material.	Y Fukukura	放射線科
Clinical Nuclear Medicine.33(8):579-581,2008	FDG PET/CT findings of urachal abcess.	Masatoyo Nakajo	放射線科
Rad Fan.6(12):26-28, 2008.	FusionART(東芝製)のMI法による位置合わせアルゴリズムにおける工夫とその経験.	中別府 良昭	放射線科
IVR会誌. Suppl;10-11,2009.	当院における腕頭鎖骨下動脈領域におけるstent-graft挿入術の経験について.	馬場 康貴	放射線科
臨床放射線. 54(1); 1561-156,2009.	肺癌におけるFDG-PETによる偶発癌診断.	田辺 博昭	放射線科
Radiology.250(2);474-481,2009	Distinguishing adrenal adenomas from nonadenomas:Combined use of diagnostic parameters of unenhanced and short 5-minute dynamic enhanced CT protocol.	T Kamiyama	放射線科
AJR.192(3);754-760,2009	Effect of clinicopathologic factors on visibility of colorectal polyps with FDG PET.	Masatoyo Nakajo	放射線科
Am J Obstet Gynecol	Chylous vaginal discharge in a patient with lymphangiomyomatosis.	岩元 一朗	産婦人科
Obstet Gynecol	Super-selective arterial embolization for uncontrolled bleeding in abdominal pregnancy	沖 利通	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Maturitas	Non-weight-bearing effect of trunk and peripheral fat mass on bone mineral density in pre- and post-menopausal women.	桑波田 暁子	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res	Ovarian large cell neuroendocrine carcinoma	辻 隆広	産婦人科
Obstet Gynecol	Inguinal hernia containing functioning, rudimentary uterine horn and endometriosis.	神尾 真樹	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res	Successful management of uterine arteriovenous malformation by ligation of feeding artery after unsuccessful uterine artery embolization	横峯 大策	産婦人科
産婦人科漢方研究のあゆみ	不正性器出血を合併する子宮腺筋症に対するきゅう帰膠艾湯の止血効果	沖 利通	産婦人科
産婦人科手術	子宮動脈塞栓術が施行困難であった子宮動静脈奇形の一例	横峯 大策	産婦人科
産婦人科手術	骨盤内リンパ節郭清術施行後に動脈血栓症を起こした卵巣悪性腫瘍の一例	戸上 真一	産婦人科
産婦人科手術	再発を繰り返し、メッシュ使用にて治療し得た直腸瘤の一例	松尾 隆志	産婦人科
産婦人科の実際	【前置癒着胎盤 臨床経験に学ぶ】子宮摘出後も止血に苦慮した既往帝王切開・前置胎盤・嵌入胎盤の1例	吉永 光裕	産婦人科
産科と婦人科	産婦人科診療 私のコツ 再発を繰り返し、メッシュ使用にて治療しえた巨大直腸瘤の1例 重症の合併症を有する高齢女性での経験	松尾 隆志	産婦人科
産婦人科治療	【更年期・閉経後の健康管理】中高年女性の不定愁訴とその対応	堂地 勉	産婦人科
Journal of Anesthesia	A short-acting beta-blocker, landiolol, attenuates systolic anterior motion of the mitral valve after mitral valve annuloplasty	T.Omae	侵襲制御学分野(麻酔科)
Journal of Anesthesia	The effect of amino-acid infusion during off-pump coronary arterial bypass surgery on thermogenic and hormonal regulation	T. Moriyama	侵襲制御学分野(麻酔科)
Biol Psychiatry 2008; 63: 245-247	Obestatin, acyl ghrelin, and des-acyl ghrelin responses to an oral glucose tolerance test in the restricting type of anorexia nervosa	Harada T, et al	心身医療科
FEBS Lett 2008; 582: 679-684	Central prostaglandin D(2) stimulates food intake via the neuropeptide Y system in mice	Asakawa A, et al	心身医療科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 2008; 294: G1210-G1218	Obestatin inhibits motor activity in the antrum and duodenum in the fed state of conscious rats	Inui A, et al	心身医療科
J Inherit MetabDis 2008; 31: 386-394	Reduced carbohydrate intake in citrin-deficient subjects	Inui A, et al	心身医療科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2008; 32: 1527-1532	Decreased levels of ghrelin, cortisol, and fasting blood sugar, but not n-octanoylated ghrelin, in Japanese schizophrenic inpatients treated with olanzapine	Asakawa A, et al	心身医療科
World J Gastroenterol 2008; 14: 6303-6305	Growth hormone releasing peptide 2 reverse anorexia associated with chemotherapy with 5-fluoruracil in colon cancer cell-bearing mice	Kojima S, et al	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biol Psychiatry 2008 ; 64: 252-255	Plasma obestatin concentrations are negatively correlated with body mass index, insulin resistance index, and plasma leptin concentrations in obesity and anorexia nervosa	Harada T, et al	心身医療科
J Hum Genet 2008; 53: 534-545	Identification of 13 novel mutations including a retrotransposal insertion in SLC25A13 gene and frequency of 30 mutations found in patients with citrin deficiency	Miharu U, et al	心身医療科
Nutrition 2008; 24: 802-805	NPY and brain monoamines in the pathogenesis of cancer anorexia	Inui A, et al	心身医療科
Neuroendocrinology 2008; 89: 9-17	At the Cutting Edge: ghrelin gene products in food intake and gut motility	Asakawa A, et al	心身医療科
日本小児外科学会雑誌	無触知精巢の治療方針	松藤 凡	小児外科
European Journal of Pharmacology	The effects of variations in dose and method of administration on glucagon like peptide-2 activity in the rat.	Kaji T	小児外科
Int J Oral Maxillofac Surg. 38(2):117-25, 2009.	A quantitative radiological assessment of outcomes of autogenous bone graft combined with platelet-rich plasma in the alveolar	Majima HJ	顎顔面放射線科
Brit J Oral and Maxillofac Surg 2008; 46: 330-331	Oral midazolam for sedation in minor oral operations in children: retrospective study	梶谷 淳	歯科麻酔科
Neurosci Lett 2008; 430: 75-80	Regulation of SULT2B1a (pregnenolone sulfotransferase) expression in rat C6 glioma cells: relevance of AMPA receptor-mediated NO signaling	梶谷 淳	歯科麻酔科
J Oral Rehabil 2008: 35; 203-208	Accumulated oropharyngeal water increases coughing during dental treatment with intravenous sedation	梶谷 淳	歯科麻酔科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 2008; 196: 1-5	Inhalational conscious sedation with nitrous oxide enhances the cardiac parasympathetic component of heart rate variability.	梶谷 淳	歯科麻酔科
Pediatric Anesthesia 2008; 677:1540-1541	Sizes and depths endotracheal tubes for cleft lip and palate children undergoing primary cheiloplasty and papatoplasty.	梶谷 淳	歯科麻酔科
Anesth Analg 2008; 106:1925	Smaller is better through the nose, In response	梶山 加綱	歯科麻酔科
Anesth Analg 2008; 677-678	Difficult intubation in a patient without a mandibular body	梶山 加綱	歯科麻酔科
鹿児島県歯科医師会医療管理委員会だより 2008; 3, 4: 1-7	歯科医院に常備すべき救急薬品と医薬品の管理方法	梶山 加綱	歯科麻酔科
鹿児島県歯科医師会雑誌 2009; 3: 4-5	高齢者における1/20万アドレナリン添加リドカイン投与後の経時的循環動態変動	梶山 加綱	歯科麻酔科
臨床麻酔、2008;32(6),1095-1096.	開口障害を伴ったメビウス症候群患者の全身麻酔経験	梶山 加綱	歯科麻酔科
Anesth Analg 2009; 108: 1358-1359.	The EndoFlex tube enhances navigability through the nasal cavity during nasotracheal intubation	梶山 加綱	歯科麻酔科
Pediatric Anesthesia 2009; 19: 640-641.	Lengths of preformed pediatric orotracheal tubes for children with cleft palate	梶山 加綱	歯科麻酔科
Acta Anaesthesiologica Scandinavica 2009; 53: 960-963.	Combination the EndoFlex tube with fiberoptic bronchoscopy in difficult intubation	梶山 加綱	歯科麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Oral Rehabilitation, 35: 795-800, 2008.	Influence of Forward Head Posture on Condylar Position	Ohmure H	矯正歯科
Journal of Oral and Maxillofacial, 66: 2020-2027, 2008.	Correlation between craniofacial and condylar path asymmetry	Miyawaki S	矯正歯科
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, 133(1): 10.e1-10.e6, 2009	Gastroesophageal reflux symptoms in adults with skeletal Class III malocclusion, examined by questionnaires	Togawa R	矯正歯科
The Angle Orthodontist	Effects of Mandibular Advancement plus Prohibition of Lower Incisor Movement on Mandibular Growth in	Fukunaga T	矯正歯科
Journal of Dental Research, 88(4): 345-350, 2009	CTGF and Apoptosis in Mice Osteocytes Induced by Tooth Movement	Fukunaga T	矯正歯科
European Journal of Oral Sciences, 117: 238-247, 2009.	Reduction of orthodontic tooth movement by experimentally induced periodontal inflammation in mice	Okamoto A	矯正歯科
European Journal of Orthodontics, 31: 314-319, 2009	Pain intensity during the first 7 days following the application of light and heavy continuous forces, European Journal of Orthodontics, 31: 314-319, 2009	Kamimura H	矯正歯科
Journal of Craniomandibular Practice	Normalization of Masticatory Function of a Scissors-bite Child with Primary Dentition: A Case	稲田 絵美	小児歯科
小児歯誌	新しい齲蝕予防管理ソフトの臨床応用 第2報 脱灰時間の割合と1年後の齲蝕発症との関係	山崎 要一	小児歯科
小児歯誌	歯科治療時における小児の協力度ならびにトレーニング回数に関する研究	山崎 要一	小児歯科
Journal of Craniomandibular Practice	Cross-sectional growth changes in skeletal and soft tissue cephalometric landmarks of children	稲田 絵美	小児歯科
Journal of Craniomandibular Practice	Movement of the instantaneous center of rotation and the position of the lateral excursion center during lateral excursion	早崎 治明	小児歯科
Journal of Craniomandibular Practice	A Cross-sectional Study of Developing Resting Masseter Activity in Different Angle	齊藤 一誠	小児歯科
小児耳鼻咽喉科(小児耳)	上気道流体シミュレーションからみた通気状態が顎顔面形態に及ぼす歯科的影響	岩崎 智憲	小児歯科
Key Engineering Materials Vols. 361-363 pp.1099-1102.	Proliferation of Osteoblast-like cell on zirconia	M. Machigashira	歯周病科
J Periodont Res 2008 43 483-489	Injectable growth/differentiation factor-5-recombinant human collagen composite induces endochondral ossification via Sry-related HMG box 9 (Sox9) expression and angiogenesis in murine calvariae	T. Matsuyama	歯周病科
Journal of the Ceramic Society of Japan, 116 [1] 20-22, 2008	Hydroxyapatite coating on zirconia using glass coating technique	M. Miyamoto	歯周病科
Dent Mater J. ;27(3):415-21. 2008	Surface properties and biocompatibility of acid-etched titanium.	Machigashira M	歯周病科
Archives of BioCeramics Research, vol. 8, pp.81-84, 2008	Comparison of X-ray Opacity of Dental Materials.	M. Miyamoto	歯周病科
Archives of BioCeramics Research, vol. 8, pp.81-84, 2008	Comparison with Low Temperature Degradation of Dental Zirconia Ceramics.	M. Miyamoto	歯周病科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Archives of BioCeramics Research, vol. 8, pp.174-177, J Periodontol, 2008, 79(1):25-32.	Initial Attachment of Osteoblast-like Cells on Zirconia in Comparison to Titanium.	M. Machigashira	歯周病科
J Periodontol Res. 2008, 43(1), 90-95.	Comparison of Injectable Calcium Phosphate Bone Cement Grafting and Open Flap Debridement in Periodontal Intrabony Defects: A Randomized Clinical Trial.	Shirakata Y	歯周病科
J Periodont Res. 2008, 43: 76-83	Tumor necrosis factor- α Stimulates Gingival Epithelial Cells to Actively Release High Mobility Group Box 1	Yoko Morimoto	歯周病科
J Periodont Res, 2008, in press	Oxidative stress causes alveolar bone loss in metabolic syndrome model mice with type 2 diabetes.	Miho Machigashira	歯周病科
J Cell Phys, 2008, 217: 338-349	The Role of Water Channel Aquaporin 3 in the Mechanism of TNF- α -Mediated Proinflammatory Events: Implication in Periodontal Inflammation.	Takashi Matsuyama	歯周病科
J Periodont Res, 2008, 43(4), 379-385	Significance of thrombomodulin release from gingival epithelial cells in periodontitis patients.	Matsuyama T	歯周病科
Int J Oral Maxillofac Surg	A follow up study of autogenous bone graft combining Platelet-Rich Plasma in alveolar cleft.	Chio Lee	口腔顎顔面外科
Oral Science International	Three dimensional analysis of relationship between palatal morphology and palatalized	Norifumi Nakamura	口腔顎顔面外科
J Anesth. 2008;22(3):213-20	Systematic evaluation of nitric oxide, tetrahydrobiopterin, and anandamide levels in a porcine model of endotoxemia.	垣花 泰之	集中治療部
J Biomed Opt.2008;13(3):033001	Brain oxymetry in the operating room: current status and future directions with particular regard	垣花 泰之	集中治療部
医学のあゆみ.227;10:887-892,2008	重症敗血症・敗血症性ショックにおける血管収縮薬・強心薬療法	垣花 泰之	集中治療部
Cardiovascular Anesthesia.12;27-34,2008	心臓手術後の脳障害とバイオマーカー	垣花 泰之	集中治療部
Stud Health Technol Inform.	Examination of nursing dependency for admission fee and measurement of nurses' work load for nursing care.	Uto Y	医療情報部
日本在宅医学学会雑誌	遠隔医療を活用した教育	村永 文学	医療情報部
医療情報学	電子カルテにおける患者サービスへの活用, 何を求めるかー階層分析法(AHP)を用いたアンケート調査ー	宇都 由美子	医療情報部
医学検査	DNAシーケンサーを用いたVNT R解析	舞木弘幸	輸血部
Blood Coagul Fibrinolysis	Enhanced platelet responsiveness due to chilling and its relation to CD40 ligand level and platelet-leukocyte aggregate formation	Yamada K. et al	薬剤部
Environ Toxicol Chem.	Subcellular distribution and potential detoxification mechanisms of mercury in the liver of the Javan mongoose (Herpestes javanicus) in Amamioshima Island, Japan.	Yamada K. et al	薬剤部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci.	Up-regulation of matrix metalloproteinase-3 in the dorsal root ganglion of rats with paclitaxel-induced neuropathy.	Yamada K. et al	薬剤部
Biol. Pharm. Bull	Effect of methotrexate treatment on expression levels of organic anion transporter polypeptide 2, P-glycoprotein and bile salt export pump in rats.	Yamada K. et al	薬剤部
J Appl Ther Res	Solubility of etoposide in infusions	Yamada K. et al	薬剤部
J Appl Ther Res	Relationship between methotrexate concentration in serum and half-life of methotrexate in high-dose methotrexate therapy: a retrospective study	Yamada K. et al	薬剤部
J Appl Ther Res	A retrospective study of the relationship between high-dose methotrexate chemotherapy-related toxicity and concomitant drugs: non-steroidal anti-inflammatory drugs and sulfametoxazole	Yamada K. et al	薬剤部
Biochem Biophys Res Commun.	Thymidine phosphorylase inhibits the expression of proapoptotic protein BNIP3.	Yamada K. et al	薬剤部
Exp. Cell Res.	Hyperosmotic stress up-regulates the expression of major vault protein in SW620 human colon cancer cells	Yamada K. et al	薬剤部
Cancer Res	Molecular basis for the induction of an angiogenesis inhibitor, thrombospondin-1, by 5-fluorouracil	Ikeda R. et al	薬剤部
Cancer Lett	Down regulation of c-Myc and induction of an angiogenesis inhibitor, thrombospondin-1, by 5-FU in human colon cancer KM12C	Ikeda R. et al	薬剤部
Curr Med Chem	Copper transport systems are involved in multidrug resistance and drug transport	Ikeda R. et al	薬剤部
Int J Antimicrob Agents.	Renal function as a predictor of linezolid-induced thrombocytopenia.	Yamada K. et al	薬剤部
歯科薬物療法	口腔癌治療時に汎用される院内製剤アズノール含嗽水の安定性と細菌学的検討	山田 勝士 他	薬剤部
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌	術中捺印細胞診が談端部浸潤の診断に有用であった転移性骨腫瘍の1例	北島 信一 他	病理部
診断病理	舌に発生した硬化性類上皮線維肉腫の1例	北島 信一 他	病理部
整形外科と災害外科	骨腫瘍に対する骨補填材料としての連通多孔体HAの使用実験	北島 信一 他	病理部
整形外科と災害外科	腓骨近位部に発生した軟骨粘液線維腫の1症例	北島 信一 他	病理部
Clin Nucl Med.	EDG PET/CT findings of urachal abscess	kitajima S, et al.	病理部

計 17
総計 253

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 高松 英夫			
管理担当者氏名	薬剤部長	山田 勝士	看護部長	窪田 美行
	臨床技術部長	福島 昇	総務課長	田上 豊
	総務課長	田上 豊	医務課長	水流添 茂登

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 各診療部門科 病歴管理室 薬剤部	(1) 電子化後は1患者1記録となりID番号で分類 (2) エックス線フィルムの管理保存 ①CT、MRI、RIのエックス線フィルムについては放射線部で管理し保存している。 ②その他のエックス線フィルムは、各診療部門科で管理し保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療環境安全部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 高松 英夫
閲覧担当者氏名	総務課長 田上 豊
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.3 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,236 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,487 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		428 人
	D: 初診の患者の数		20,252 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (10) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療安全を確保するための改善方策(2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営(3) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導(4) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導(5) 医療安全管理委員会の円滑な運営	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 趣旨(2) 安全管理に関する基本的考え方(3) 組織に関する基本事項(4) 職員研修に関する基本方針(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療の安全管理体制を確保すること(2) 医療に関する安全管理指針に関すること(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること(5) その他医療の安全管理等に関すること	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 5 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 医療安全管理全般に係る研修あるいはシンポジウム、医療機器・医薬品・院内暴力・院内救急蘇生等のテーマ別研修をそれぞれ実施し、その他に新規採用者・中途採用者向けの研修を年度内に 4 回実施した。	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療環境の変化に対応するため、「医療安全管理マニュアル」を毎年度改訂(2) 医療安全管理強化月間 (5月, 11月) を設定	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 趣旨 (2) 院内感染対策の基本方針 (3) 組織体制 (4) 職員の教育及び研修 (5) 報告・対応に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内の感染状況の把握と防止対策（院内感染制御と患者の安全確保） 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 血液体液曝露防止 (2) 感染生廃棄物 (3) 標準予防策・経絡別予防策 (4) 肺結核症の臨床と予防 (5) ノロウイルスの感染予防策 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 機動性を重視するための規則改正 (2) 院内全体の周知（メール等を活用した迅速な対応と委員会等での全体周知） (3) 感染制御の徹底 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) サリドマイドの適正使用について (2) 新剤型フェンタニル貼付剤デュロテップMTパッチの適正使用について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○・無) ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医薬品の採用について (2) 医薬品の購入について (3) 調剤室における医薬品の管理について (4) 病棟における医薬品の管理について (5) 外来患者への医薬品使用について (6) 入院患者への医薬品使用について (7) 医薬品情報の収集・管理・提供について (8) 他施設との連携について 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無) <ul style="list-style-type: none"> (1) 製薬メーカーの医薬情報担当者 (MR) から情報を得ている。 (2) 医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報配信サービスから使用上の注意改訂, 医薬品安全対策情報など様々な情報をe-mailで得ている。 (3) CareNet. comから毎日医療ニュースをe-mailで得ている。 (4) これらの情報を取捨選択し, DI newsという形 (紙および電子媒体) で院内に情報提供している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 処方データに基づく散薬, 水薬監査システムを導入し, 調剤の精度, 安全度が高まった。 (2) 注射薬の払出し方法をピッキング装置による患者毎のトレイ払出し方式に変更した事で, 過誤防止や患者間の注射薬取り違い防止を図った。 (3) 輸液を対象に薬剤名をRp毎に記載したラベルを作成し, ミキシング時の間違い防止を図った。 (4) 機器の24時間稼働の実施により, 当直帯 (1人薬剤師) の調剤支援, 過誤防止を図った。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 機器の取扱方法，点検方法，使用上の注意点，不具合発生時の報告，インシデント事例の紹介などの内容の研修を実施している。また，状況に応じて医療機器に関する研修が必要と判断した場合は，随時開催している。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容： 医療機器安全管理担当者会議で策定した計画にそって，各担当部門で保守管理を行っている。また，多部署で使用する ME 機器に関しては，主に医療器材管理部 ME 部門で貸出点検，定期（保守）点検，故障修理の対応等を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医薬品医療機器総合機構等の機関から発信される医療安全情報を，医療機器情報担当者は医療環境安全部のゼネラルリスクマネージャと連携して，各部署のリスクマネージャに情報配信を行い，院内での使用状況等を調査して職員への注意喚起を行っている。その情報等を医療機器安全管理担当者会議等で報告して，情報の収集と安全使用のための改善策について検討を行っている。 (2) ME 部門が病棟ラウンドを実施し，機器の設定や使用状況を把握している。 	